

中国・インドの貧困の現状

W20-0219 岩下朋典

中国	インド
・人口 約13億人	・人口 12億1000万人
・2009年度 GDP 約4兆9,000億ドル(1ドル = 6.83円)	・2009年度 GDP 1兆3,102億ドル
・一人当たりGDP 約3,404ドル(2008年)	・一人当たりGDP 1,031.7ドル
・経済成長率 8.7%	・GDP成長率 8.5%

中国の貧困者数ってどれくらい？

▶ 1978年時点

中国が独自に決めた貧困ラインでは貧困層は約2億5千万人にものぼる。



その後、
経済開放政策の恩恵や都市部への出稼ぎなどで現金収入が増加。

▶ 2008年には貧困層が10分の1にまで減少

中国の貧困層ってどれくらい？

- ・ 経済成長を遂げ、貧困層が大幅に減少したように見える中国だが、中国が定めた**貧困ラインが重要!**
- ・ 2008年以前の基準
絶対的貧困ライン: 一人当たりの年の純収入が625元以下
相対的貧困ライン: 一人当たりの年の純収入が625元~865元までの間
* 一日2100キロカロリーを摂取できる食生活を確保する

中国の貧困層ってどれくらい？

- ▶ 2008年
中国政府は貧困ラインを示す基準を年純収入1,196元(約1万4000円)と改定した。
さらに、
- ・ 2011年4月
中国政府は同年からの新5カ年計画で貧困ラインを年純収入1,196元→1,500元(約1万9500円)へと25%引き上げ、国内の所得格差是正に乗り出す方針を固める。

- ▶ この貧困ラインの引き上げによって、貧困層と認められる人が3000万人から一気に約**1億人~1億5000万人を超える**ほどにまで増加する見込み。
- ▶ **だが、この基準は世界的にはまだ不十分!**
国連ミレニアム開発目標(MDGs)で定められた貧困の絶対的基準は、「一日1ドル以下で生活している」状態を示している。
世界銀行による国際貧困基準は、「生活費が一日1.25ドル」と定められている。
これを中国元に換算してみた場合、**年間三千元が必要**となる。

つまり、1500元まで引き上げたとしても、中国貧困基準と国際貧困基準との差はまだ大きい。中国の最低レベル生活の消費基準にもとづく計算では、貧困基準は最低でも2400元まで引き上げなければならないと言われている。

▶ **まだまだ貧困層は広く存在する可能性**

▶ **中国は未だ十分な発展を遂げたとは言えない。**

世界の貧困層

(百万人)	\$1 poverty	\$2 poverty
中国	207.7	473.7
その他東アジア	108.5	255.0
インド	455.8	827.7
南アジア	139.8	263.8
ヨーロッパ	17.3	41.9
ラテンアメリカ	46.1	91.3
中東	11.0	51.5
アフリカ	390.6	556.7
合計	1376.7	2561.5

最貧困層(一日1ドル以下)の推移

(百万人)	1981年	2005年
中国	835.1	207.7
その他東アジア	236.4	108.5
インド	420.5	455.8
南アジア	127.8	139.8
ヨーロッパ	7.1	17.3
ラテンアメリカ	42.0	46.1
中東	13.7	11.0
ラテンアメリカ	213.7	390.6
合計	1896.2	1376.7

貧困層(一日2ドル以下)の人数推移

(百万人)	1981	2005
中国	972.1	473.7
その他東アジア	305.6	255.0
インド	608.9	827.7
南アジア	190.6	263.8
ヨーロッパ	35.0	41.9
ラテンアメリカ	82.3	91.3
中東	46.3	51.5
アフリカ	294.2	556.7
合計	2535.1	2561.5

END
♡